



姫路高校の「理科」の授業では、実験などでタブレットの活用を推進しています。生徒たちは定期考査で解いた問題の内容を、実際に実験を行うことで再確認ができ、理解を深めています。班ごとに実験データを収集し、スプレッドシートに入力することにより、収集したデータを多角的に分析することでタブレットを活用しています。事象について考察することで、思考力と理解力を伸ばしています！座学だけでは学べないことを経験し、さらに興味・関心を深めていこう、姫高生！

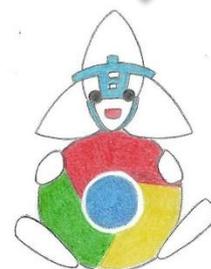


データの整理が
容易になり、
じっくり考察が
出来るね！

(「物理基礎」の授業の様子)

授業担当者:松井 応式先生【理科】

対象科目 : 物理基礎



先生より

今回の授業では、「エネルギー保存則の検証」というテーマで実験を行いました。講義で習ったエネルギー保存則が自然界で本当に成り立っているのか、実際に自分たちで検証しました。

その際、まずデータの収集、解析にChromebookを使用し、次にスプレッドシートを用いて誤差の検討を行いました。スプレッドシートは単に表を作るだけではなく、高度な数値的解析をすることもできます。新たな使い方を知ること、さらにレベルアップすることができたと思います！